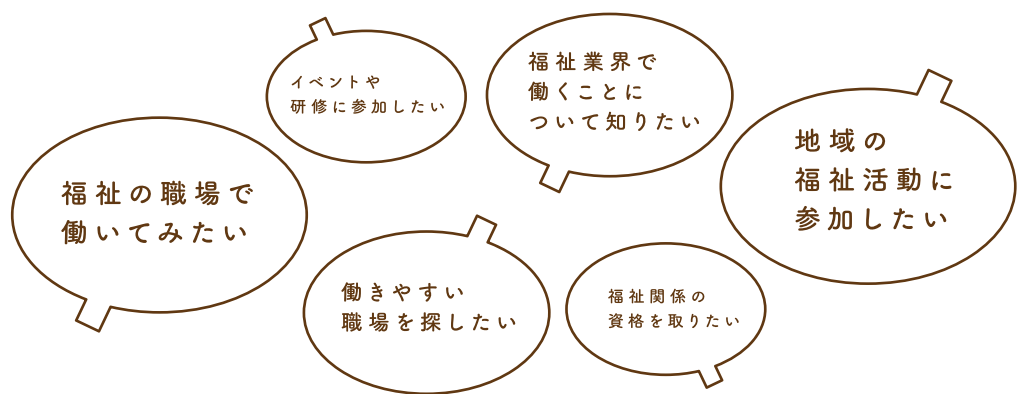


あなたと福祉職場を
つなぐポータルサイト

東京都福祉人材情報バンクシステム
ふくむすび



一人でも多くの方が、自分に合った福祉職場、サービス、イベントなどを見つけられるよう、さまざまな情報を発信しています。

- 働きやすい職場作りに取り組む福祉事業所の情報(TOKYO働きやすい福祉の職場宣言情報)
- 都内約3万事業所の所在地や提供サービス等の基本情報
- 都内事業者の職員募集や職場環境等に関する情報
- 職場体験受け入れ等に関する情報、都内自治体の支援策やイベント・講習会などの開催情報
- 福祉職場の魅力を紹介する動画や解説

などなど、福祉職場に興味のある方に、役立つ情報を発信!

登録
無料



まずはマイページの登録!

マイページ登録画面で、希望のエリア、希望分野、配信を希望する情報などを選択。あなたにおすすめの情報が、マイページまたはメルマガジンで配信されます。

- おすすめの事業所
- 希望エリア、希望分野の研修・イベント
- 「興味あり」に登録した事業所、研修・イベントなど

例えば保有資格
「子育て支援員」にチェック

「ふくむすび」に関するお問合せは、
東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター 人材対策推進室まで
TEL:03-6261-3925 FAX:03-6256-9690

子育て支援員について、詳しくお知りになりたい方は、

東京都子育て支援員



子供たちへの思いを、

育児経験を、

仕事にしよう。

子育て支援員に転身!



藤岡弘、

10分で
分かる
子育て
支援員

TOKYO子育てスクラム

いま保育や子育ての現場が
あなたの育児経験や知識を
求めています。

東京の子供たちのために。

そして、その子供たちがつくる
東京の未来のために。

さあ、子育て支援員に

デモン!



子育て支援員をご存知ですか？

- 子育て支援員は全国共通の認定制度です。
- さまざまな子育ての現場で活躍が期待されています。
- 保育所はもちろん、子育てひろばや学童クラブなど活躍できるフィールドが多彩です。
- 保育や子育ての現場があなたの育児経験や知識を求めています。
- 特別な資格がなくても大丈夫。
あなたも、育児経験や知識が活かせる
子育て支援員に転身してみませんか。

特別な資格は不要

年齢制限なし

費用は無料

COURSE

コースの紹介



子育ての現場と言っても実にさまざま。
どんな仕事がしたいかにより、
受講する研修コースが異なるんだ。

地域保育 コース

0歳から小学校入学前までのお子さんをお預かりして、保護者に代わって、着替えや食事の世話をしたり、歌や遊びなどを通じて、子供たちを健やかに育てることが保育の仕事です。そんな保育の現場を目指す方向けのコースです。

地域 子育て支援 コース

地域の身近な場所において、子育て家庭と一緒に遊んだりしながら親子を見守ったり、保護者から育児相談を受けてアドバイスをする、そんな地域の良き子育て相談相手となる職員を目指す方向けのコースです。

放課後児童 コース

小学校の授業が終わった後や授業のない日に、共働き家庭などの子供たちがみんなで遊び、生活する場所が学童クラブ。様々な年齢の子供たちが同じ時間を過ごす中で、一緒に考えてみたり、気づきを促すなどして、健やかな成長を支えていきます。そんな学童クラブの現場を目指す方向けのコースです。

社会的養護 コース

家族と一緒に暮らせないなどの子供たちが暮らす場所が児童養護施設。乳児の場合は乳児院がこれにあたります。そんな、施設で暮らす子供たちの身の回りのお世話をしたりする支援者を目指す方向けのコースです。

(※)ファミリー・サポート・センター事業

詳しくはお住まいの区市町村へ

子供の預かりや送迎など、子育ての支援を受けたい方(依頼会員)と、支援を行いたい方(提供会員)が地域で相互援助を行う仕組みです。提供会員になる場合は、区市町村が実施する研修を受ける必要があります。(子育て支援員研修の地域保育コースを受講していただくことで、一部の科目が免除となります。)

	分野	事業内容	基本研修	専門研修
地域保育コース	小規模保育事業 (保育従事者)	定員6~19人の少人数の子供を対象に、家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行います。		6科目 6.5時間 +2日 (共通科目) 11科目 15時間
	地域型保育 家庭的保育事業 (家庭的保育補助者)	保育者の居宅やその他の場所等において、少人数(定員5人以下)を対象により家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行います。		
	事業所内保育事業 (保育従事者)	会社の事業所の保育施設等で、その会社の従業員の子供や地域の子供の保育を行います。		
	一時預かり事業 (保育従事者)	家庭において保育を受けることが一時的に困難になった子供について、保育施設等において一時的に預かり、必要な保護を行います。		6科目 6.5時間 +2日
地域子育て支援コース	利用者支援事業・基本型 (専任職員)	子育てひろばなどで子育て家庭のニーズを把握し、様々な情報提供や、相談等の支援を行うと同時に、地域の関係機関との連携や協働の体制づくりを行います。	8科目 9時間	9科目 16時間+1日
	利用者支援事業・特定型 (専任職員)	行政機関窓口などで子育て家庭のニーズを把握し、地域の保育施設の情報提供や、相談等の支援を行います。		
	地域子育て支援拠点事業 (専任職員)	公共施設等の身近な場所で、子育てについての相談や情報提供、その他の援助を行ったり、親子の交流の場を設けたりすることで、地域の子育て支援機能の充実を図ります。		
放課後児童コース	学童クラブ (補助員)	保護者が就労等により昼間家庭にいない子供に対し、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供します。		6科目 9時間
社会的養護コース	乳児院・児童養護施設等 (補助的職員)	保護者のない子供や、保護者に監護させることが適当でない子供を、公的責任で社会的に養育・保護し、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行います。		9科目 11時間

○「+2日」及び「+1日」とは、見学実習の日数を表しています。

○利用者支援事業・基本型の専門研修には、事前学習(8時間相当)が含まれています。

STEP

子育て支援員になるまでの流れ



子育て支援員として働いてみたい。
そう思ったあなたは、
早速チャレンジしてみてください。



申込書の提出

まずは子育て支援員の研修の4つのコースの中から、受けたい研修コースを選びます。

コースの詳細は
P.03-04 へ



受講決定

研修は、いずれのコースでも「基本研修+専門研修」で構成されています。



基本研修の
受講・修了

基本研修では、どのコースも共通の内容を8科目(9時間)受講します。基本研修の内容は、子育て支援員としての役割を理解すること。子供の発達や、子育て家庭の現状など、基礎知識や技術を学びます。



専門研修の
受講・修了

専門研修では、それぞれのコースに応じた専門的な研修を受講します。専門研修の内容はコースによって科目も時間も異なっており、希望したコースに関する知識や技術などを学習することができます。



修了証書の
交付

選択したコースの研修カリキュラムをすべて終了すると、修了証書が発行されます。



子育て支援員

認定されると、子育て支援員として働くことができます。就労先に関する情報は東京都福祉人材情報バンクシステム「ふくむすび」で得ることができます。

詳細は
本冊子裏面 へ

対象者

都内に在住またはお勤めの方で、保育や子育て支援などの仕事に関心を持ち、これらの分野で仕事をしてみたい方であれば、どなたでも受講できます。年齢制限もありません。

費用

研修への参加費用は無料です。ただし、会場への交通費及び昼食代は自己負担となります。また、コースによってはテキスト代などが掛かります。

では、子育て支援員にテンシン！
された先輩たちの話を
聞いてみましょう！➡

子育て
支援員の声



子供との接し方、これでいいのかなと思っていたときに、背中を押してもらえたのが、子育て支援員の研修でした。

恵・YOU保育園
足立区
川上雅野さん(52)

これまで分からなかったことや
疑問に思っていたことが
研修を受けたことでクリアに。

きっかけは、テレビで子育て支援員の特集番組を見たことです。保育園で働いていることもあり、普段からもっと子育てに関する専門的な知識を身に付けたいと思っていたこともあって、すぐにネットで調べて応募しました。参加した地域保育コースには私と同じような働き方をしている人が多く、皆さんとは話が合いましたし、同じような悩みや問題意識も共有できて大変勉強になりました。研修は、非常に多くのことを短期間に学ぶというなかなかハードなものでしたが、内容は濃いもので満足しています。

これまで、子供の成長や対応の仕方について疑問に思っていたこともあったのですが、子育て

支援員研修を受けてからはクリアになりました。座学でも教えていただいたことは、保育の現場でしっかり役に立っていると思います。

お母さん方の悩みや相談にも
色々とアドバイスできるように。
子育て経験も活かしています。

保育の現場で働いた経験がなかったので、最初はすごく不安でしたが、いまは私の子育て経験や知識を、多くのお母さん方が頼りにしてくれています。どうも話がしやすいようで、オムツが外れない、言葉がなかなか出ないなど、いろんなことを相談されます。同じような経験をしたからこそ、その気持ちがわかるということは、重要だと思います。子育て経験がある方、子育て支援員研修、おすすめします。



保育の現場で
働きたいなら、

地域保育コースへ

☎ P.3~4



お母さんたちが孤立せず、安心して子育てができるお手伝い。そういう仕事に喜びと誇りを感じます。

文花子育てひろば
墨田区
佐々木真紀さん(30)

子育ての悩みや相談に
しっかりアドバイスできる。
現場での自信につながっています。

私は社会福祉士の資格を持っているのですが、保育の知識を深めたいと思い、子育て支援員の研修を受けに行きました。カリキュラムの内容は濃いもので、子供の育ち方についての理解がずいぶんと深まりました。他の子育てひろばでの見学実習もあり、地域によって課題も異なったり、アドバイスの内容も違って、ほんとうに勉強になったと思います。

子供たちがケガをしないように見守ったり、一緒に遊んだりもしますが、仕事の原点は子育てしているお母さん、お父さんたちのサポートです。何か相談があったときに、少しでも知識を伝えて安心

してもらえたり、アドバイスしたりできるようになったのは、研修のおかげだと思います。こんな風に、地域の子育て情報の要になることは大事なことでないでしょうか。

子育てのことを学べば学ぶほど、
子供たちと密接に関わりたくくなりました。

子育て支援員に認定されてから、私はこれまで以上に子供が好きになりました。もっと一緒に遊びたい! もっと多くの時間、子供たちと接したい! そんな気持ちが一層強くなりました。研修の受講が自信につながり、積極性が出てきたのかもしれませんが、お子さんが好きな方なら、ぜひ挑戦してみたいはかがでしょうか?



地域の子育て家庭を
応援するなら

地域子育て支援コースへ

☎ P.3~4

子育て
支援員の声



子育てを終えたあとも、地域の子供と関わりを持つことは自分の成長につながると思います。

四宮森児童館内学童クラブ
杉並区
石川尚子さん(55)

子育て支援員って全国の認定制度。どこでも使えるんですよ。

2年前にはじめて子育て支援員という制度があることを知り、さっそく研修に参加しました。いちばん魅力に感じたのは、全国で通用する認定制度というところ。いまはこうして杉並区の施設で子供たちに関わっていますが、以前は大阪に居ましたし、今後のこともわかりませんので。ここでは、おやつのお世話や遊びの時間のサポートなどを行っています。また、特別支援が必要な子供たちとのコミュニケーションも重要な仕事です。手をつなぐのを拒否するようなお子さんは、私が提供するおやつも警戒して食べませんし、トイレにも行ってくれません。それでも根気よく接するうちに、この

人は味方だとわかってもらえ意思の疎通ができるようになるんですよ。この仕事をやっていて良かったと思える瞬間ですね。

子供たちを支援しながら、逆に元気がもらえる幸せな仕事。

子供たちにとって、今日ここへ来て良かった、ここで遊べて良かったと、それぞれが平穏な気持ちで帰ってもらえる環境づくりがいちばん。地域の子供の居場所としてきちんと機能させていくことは、とても難しい仕事です。子供と対等に接していくには、かなりエネルギーを使います。それでも、苦労や困難以上の元気がもらえるんです。子供の日常を見守りながら自分も学び成長していける、ものすごくやりがいのある仕事だと思います。



小学生たちと
関わりたいなら

放課後児童コースへ

☉ P.3~4



少しでもいいから子育てをしている皆さんの力になりたい。そんな気持ちからファミサポの提供会員になりました。

ファミリー・サポート・センター提供会員
中央区
鈴木克明さん(46)

子供たちの表情から、学校であったことがわかったりする。そういうところが面白い。

うちは共働きだったので、子供が小さい時に、預け先がなくて苦労した経験がありました。同じように困っている人が沢山いらっしゃるだろう。何か力になりたいと思い、子供が大きくなったタイミングで、ファミリー・サポート・センターの提供会員になりました。これまでに預かりしてきたお子さんは、9ヶ月の乳児から小学校5年生まで。保育園の迎え、自宅でごはんの世話をしたり、年齢に応じたサポートをさせていただいています。同じ子供でも、日によって少しずつ表情が違います。学校で何かあったのかなとかすぐに分かりますよ。日々の成長を見ることができるのが本当に面白い。それも何十人、何百人という子供の成長。ふつう、なかなかできる経験ではないですよ。

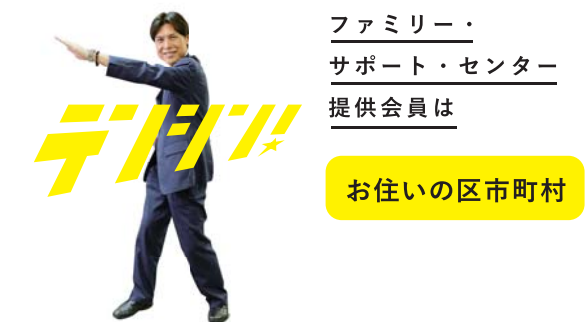
子供の預かりや送迎など、子育ての支援を受けたい方(依頼会員)と、支援を行いたい方(提供会員)が地域で相互援助を行う仕組みです。提供会員になる場合は、区市町村が実施する研修を受ける必要があります。(子育て支援員研修の地域保育コースを受講していただくことで、一部の科目が免除となります。)

子供たちを思う気持ちが大事。地域の中でそう感じている人なら誰にでもできる仕事だと思います。

子育て支援員の研修にも行きました。私が受講したコースは保育所に行く実習があって、子供たちと一緒に走ったり遊んだりするんですが、本当に貴重な体験でした。楽しくやりがいのある子育て支援。経験の有り無しは、あまり関係ありませんよ。サラリーマンの私にもできていますから。誰にでもできる地域活動だと思います。

早朝や深夜、休日も対応くださっている鈴木さん。その活動ぶりにはいつも頭が下がりますね。

(中央区ファミリー・サポート・センター 井上一雄さん)



ファミリー・サポート・センター提供会員は

お住いの区市町村へ